

2 研究の実際 > (2) 「強み」に関する活動プログラム

ウ 教育課程への位置付け<高等学校>

<p>【特別活動】 1 ホームルーム活動 (2) 適応と成長及び健康安全 イ 自己及び他者の個性の理解と尊重 オ コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立 (3) 学業と進路 エ 進路適性の理解と進路情報の活用</p>	<p>【位置付けのポイント】 ☆学年当初や1学期に行くと、自分や友達によさに気づき、そのよさを大事にしているという気持ちを早い段階で学級に広げることが期待できます。 ☆分けて行う場合は、②と③は間を置かずにつけて実践することで学習の効果が高まります。 ☆①で行う「自分Webbing」や②で行う「星☆いくつ」の交流活動は、席替え等でグループのメンバーが新しくなったときなど、短時間で何度も行うことが可能です。</p>
--	--

◆高等学校第1学年のホームルーム活動の年間指導計画に位置付けた例
 (学校により、学校行事の時期が異なることが考えられます)

月	主な学校行事	時数 (全35時間)	※ 題材・活動 □ は授業実践が可能	「強み」に着目した授業実践の例 ※黄色で色付けをしている題材・活動で実施できます
4	入学式 始業式 宿泊研修	1	学級指導	① 自分や友達の「強み」を知ろう
		1	学級指導	② 自分や友達の「強み」を生かそう
		1	心理検査	
		1	宿泊研修事前指導	
5	生徒総会 中間考査	1	学年集会	入学直後の宿泊研修での実施も薦めます。
		1	中間考査に向けて	
		1	生徒総会	
		1	高校総体に向けて	
6	高校総体 期末考査	1	キャリアワーク①	生徒が自分の「強み」を知ったり、互いの「強み」を認め合い、確かめ合ったりする活動を通して、自分の個性を生き方や進路と結び付けて考え、自分のよさを発揮し、個性を生かす進路、生き方があることを知ることにつながると考えます。
		1	第1回進路ガイダンス	
		1	課題学習①	
7	クラスマッチ 終業式	1	期末考査に向けて	2学期の大きな学校行事後に、生徒が自分や友達の「強み」を振り返ると同時に、グループや学級全体で互いの「強み」を伝え合う交流活動を通して、他者への思いやりを深め、共に生きる人間としての心の豊かさをもって成長していくことにつながると考えます。
		1	性教育	
		1	身だしなみチェック	
9	始業式 文化祭・体育祭 生徒会長選挙	1	文化祭・体育祭に向けて	
		1	生徒会長立会演説会・投票	
		1	学年集会	
10	中間考査	1	交通安全教育	
		1	中間考査に向けて	
		1	第2回進路ガイダンス	
11	期末考査	1	防災避難訓練	
		1	人権同和教育	
		1	期末考査に向けて	
12	クラスマッチ 終業式	1	キャリアワーク②	③ 自分や友達の「強み」を生かしていこう
		1	薬物乱用防止教育	
		1	学級指導	
1	始業式	1	学年集会	
		1	ネットエチケット教育	
		1	課題学習②	
2	学年末考査	1	第3回進路ガイダンス	年度末に、生徒が自分や友達の「強み」を再確認して、今後、互いの「強み」を生かしていこうとする意欲を高めることにより、学級集団の中での行動の仕方や生き方について考え、望ましく円滑な人間関係を確立することにつながると考えます。
		1	身だしなみチェック	
		1	学年末考査に向けて	
3	卒業式 修了式	1	キャリアワーク③	
		1	学年集会	
		1	1年間の振り返り	